

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

## 「現業機関における柔軟な働き方の実現について」提案

# 職場からの反対で攻撃の エスカレーターを止めよう

JR東日本は5月26日、「現業機関における柔軟な働き方の実現について」を提案しました。この間、乗務員に対して攻撃が次々とかけられています。昨年4月、運転士・車掌の職名が廃止され「乗務係」にされました。今度はそれも含めて全職名を廃止するというのです。

提案の直後には「副業」の通知が出されました。また4月から鉄道の現場で働く社員を中心に、100人程がルミネなど異業種のグループ会社に向き寄せられました。

### 現場からの声と闘いに力がある

深澤社長は「鉄道ありきで考えるな」「鉄道業務は



#### ◆乗務員勤務制度改悪（2019年3月～）

- ▷朝夕のピーク時間帯にも短時間行路を設定
- ▷支社課員、当直、指導員に定期列車への乗務を指定
- ▷乗務割交番内の行路は実乗務割合を増やす

#### ◆ジョブローテーション（2020年4月～）

- ▷運転士、車掌の職名を廃止し「乗務係」にする
- ▷同一担務は最大10年
- ▷車掌・運転士の登用試験廃止し、「通常の人事異動」で決定する
- ▷車掌を経ずに運転士に登用する

#### ◆「柔軟な働き方の実現」提案

- ▷現業職すべての職名を廃止する
- ▷（営業）統括センターを新設する
- ▷駅業務と乗務業務の融合を進める
- ▷「柔軟な働き方」を行う

赤字化のリスク」と言っています。コロナ禍を利用して、一挙に攻撃を加速させているのです。

しかし、会社も何か展望があって攻撃しているわけではありません。日々、鉄道を動かしているのも、安全を守っているのも、すべて現場労働者です。次々とエスカレーションする会社の攻撃を止める力も、この職場の現実を変える力も、現場労働者にあります。

会社がここまで踏み込んできている中で、必要なのはこの攻撃に対抗する力です。職場からの反対の声と闘う労働組合が必要です。動労千葉と共に闘おう。